

日本現代中国学会関東部会定例研究会のご案内

会員各位：

今回の現代中国学会関東部会定例研究会は、米国の政権交代に揺れる中米関係をテーマとしました。選挙期間中、中国批判を繰り返したトランプ大統領の誕生は、中米関係、さらには日中関係や東アジアの国際関係に、どのような影響を与えるのか。会員のみならず、米国政治の専門家もお招きし、御報告をお願い致しました。今最も気になる問題についての、濃密な議論が期待されます。皆様どうぞ奮って御参加下さい。

※なお当日は、関東部会理事会を 17:00 から開催致します。理事の方々にはご出席を宜しくお願い申し上げます。

関東部会事務局

中村元哉(津田塾大学) 阿古智子(東京大学) 大西広(慶応義塾大学)
倉田徹(立教大学) 佐藤普美子(駒澤大学)
(幹事) 家永真幸(医科歯科大学) 小野泰教(学習院大学)
澤田ゆかり(東京外国語大学) 中村みどり(神奈川大学)

■日時：2017年1月9日(月・祝) 13:00-16:45

■場所：東京大学駒場キャンパス 2号館 308号室

※地図：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02_01_j.html

■テーマ：トランプ時代の中米関係

司会：川島真(東京大学)

第一報告 13:00-14:10

報告者：松田康博(東京大学)

「習近平政権下の米中関係展望——トランプ政権誕生の影響」

コメンテーター：趙宏偉(法政大学)

質疑応答 14:10-14:30

<休憩> 14:30-14:50

第二報告 14:50-16:00

報告者：中山俊宏(慶應義塾大学)

「米新政権のアジア政策と中国」(仮題)

コメンテーター：高原明生(東京大学)

質疑応答：16:00-16:20

総合討論 16:20-16:45